

信州発、ベトナムにおける 院内感染防止への挑戦

～長野県初、(株)信州セラミックスの提案が採択へ～

国際協力機構（JICA）は3月13日、長野県木曾郡の株式会社信州セラミックス（代表取締役 櫻田理）による、「院内感染撲滅に向けた医療用抗菌システム普及案件化調査」を「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として採択しました。本件は長野県における初めての案件化調査採択案件となります。

信州セラミックスが製造する環境衛生材料は、抗菌・抗ウイルス・消臭効果を特性としたセラミックスの複合材料です。この材料を塗料に分散し、ナノ化によって透明化したものを繊維や不織布、金属等に塗布することで、医療用カーテンやマスク、医療施設の建材として活用されています。日本では病院や介護施設等で消臭や感染症対策の質の向上のため本製品が活用されています。本調査では、ベトナムでの製品加工の可能性の検討や、東北大学、信州大学の教授、コンサルとして三菱総研と協力し、ベトナムの病院を対象とした臨床レベルでの感染症対策に向けた効果を検証します。



ベトナム病院内の
様子



提案製品（環境衛生材料）
を布生地に塗布し、抗菌タ
オルとして製品化。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度第2回目は昨年11月に公示を行いました。129件の応募のうち25件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所業務課 担当：小嶋
 TEL： E-mail：